



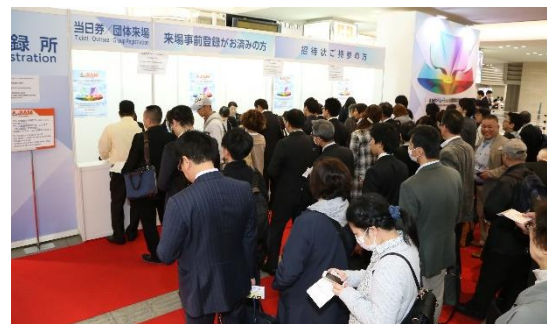
2016年04月09日

ビジネスにつながる場としての JIAM 2016 OSAKA 出展成果を喜ぶ声が多数

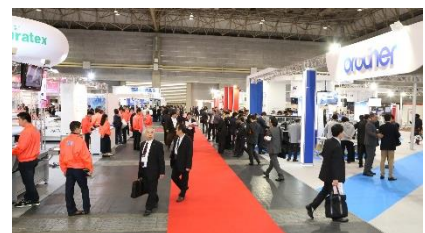
「国際アパレル機器&繊維産業見本市 JIAM 2016 OSAKA」<主催：(一社)日本縫製機械工業会 (JASMA)> が3日目の開催を迎えました。各所で活発な商談を展開し、各会場は熱気を帯びていました。「初日から良い引き合いがあった」「大口受注があった」など、出展成果を喜ぶ声が多数寄せられました。海外来場者も引き続き多数訪れ、特にインド、パキスタンやベトナムからの来場者が目立つという声がありました。

■4月6日-8日 来場者状況 *速報値

JIAM 2016			
月日	天候	来場者数 (内、海外)	登録者数 (内、海外)
4月6日(水)	晴れ	3,517 (1,308)	3,517 (1,308)
4月7日(木)	雨	4,058 (1,082)	3,156 (683)
4月8日(金)	晴れ	4,172 (361)	3,625 (197)
4月9日(土)			
累計		11,747 (2,751)	10,298 (2,188)



今回2号館に設置したプリント・転写、企画・デザインソフトウェア、刺繍・加工などに特化した「プリント & ファッションゾーン」には、前回は大幅に上回る30社以上の出展者が集結しました。ファッションのデジタル化が進む中、最新の縫製加工技術とのマッチングやオンデマンド対応など、より細やかなソリューション提案が行われ、特に8日は多くの来場者が興味深く担当者のお話を聞いている姿が見受けられました。



連日展開している主催者企画特別セミナーも、セッションによっては300名以上の受講者が出るほど盛り上がりを見せました。4月8日に開催されたセミナーは、一般社団法人 日本繊維製品品質技術センター 神戸試験センター 微生物ラボ ラボ長 射本 康夫氏と「機能性繊維の最新評価技術について」一般財団法人 ボーケン品質評価機構 開発部 統括課長 吉岡 陽一郎氏による「繊維検査の現状 問題と対策 繊維製品の抗菌、抗ウイルス、消臭試験について」、株式会社三越伊勢丹 営業本部 三越日本橋本店長 常務執行役員の中 陽次氏による「大手百貨店が取り組むメイド・イン・ジャパン 三越伊勢丹のジャパンセンスイズへの取り組みの現状と今後 (FBS主催セミナー)」、コーディネーターとしてNPO法人 アジア・アパレルものづくりネットワーク 理事・事務局長 和田 博氏を迎えた「Made by JAPAN 広がるアジア縫製 ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー、バングラデシュ どこが生産最適地か、わが社の戦略」、福井県工業技術センター 新産業創出研究部 e-テキスタイル研究グループ 主事 辻 堯宏 / 主任研究員 増田 敦士

氏による「-先端繊維/太陽光発電テキスタイル"RFID ファイバー'の可能性-」と、幅広いラインナップとなりました。



ホームソーイングゾーンに隣接して設置されている「イベントステージ」では、大阪モード学園主催のデザインコンテスト「OSAKA MODE GAKUEN ORIGINAL BRAND EXHIBITION SPRING & SUMMER COLLECTION」に多くの来場者が集まり、大変賑わいました。前日の4月7日の人気投票に基づき、8日のショー後に結果が発表され、各賞と賞金が授与されました。



<本リリースおよび出展に関するお問合せ先>

JIAM デスク (メサゴ・メッセフランクフルト株式会社内)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F TEL: 03-6272-3036 FAX: 03-3262-8442

E-mail: press@jam-show.com (リリースに関するお問合せ) info@jam-show.com (出展に関するお問合せ)